箏譜エディターについて

現代文化表現学科准教授　　伊藤　穣

〇概要

箏譜エディターは、箏曲用の楽譜の一種である「縦譜」の制作・編集・印刷および自動演奏の機能を持つソフトウェアです。

〇「縦譜」とは

一般的に西洋音楽等で用いられる五線譜は、演奏すべき音の高さを示す「音高譜」です。それに対し、縦譜は弾くべき箏の弦の位置を番号で示した「奏法譜（タブラチュア）」です。箏は楽曲によって調弦（チューニング）が異なるため、弦と音高とが一対一に対応しませんが、弾くべき弦が数字で示されることによって、誰でも容易に演奏に取り組むことができます。

〇箏譜エディターの操作方法
キーボード上部の、横一列に並んでいる数字のキーを押すと弦の番号を入力することができます。矢印キーで赤いカーソルを動かしながら入力してください。

一つのマスが四分音符を表します。マスの中仕切りの下半分にも弦の番号を入力すると、八分音符を示します。さらに、[insert] キーを押すとカーソルの大きさが半分になり、十六分音符を入力することができます。

また、そのほかのいくつかの演奏記号が入力できるほか、調弦方法を選ぶこともできます。詳しくは取扱説明書を参照してください。

入力した楽譜を自動演奏させたいときは、画面上部の操作ボタンをクリックしてください。

○楽譜の入力例